

# まちづくり推進委員会 年間事業計画書

1. 委員会構成メンバー ◎宇山賢二、○伊東 寛太、辻 基樹、中田康太、増本康志

## 2. 委員長所信（基本方針）

現在、安来には豊富な地域資源があり、それらを活用したまちづくりが行われています。まちづくりには若者の力が必要不可欠であり、今後も安来のさらなる発展を目指すために、また豊富な地域資源を未来へと繋げていくために、次代の担い手となる若者の地元への定着を図る必要があると考えます。

そこで私たちは、若者が集うまち安来の創造を目的とし、将来の安来に対して不安を感じている若者や、進学や就職等で県外に出ようと考えている若者、市外から移住してきた若者に、今安来に対して感じている魅力や抱えている不安はどのようなものなのか考え、言葉にしてもらい自分自身で発してもらいます。そしてその思いを私たちが汲み取り、深く掘り下げ、若者に共感を得てもらえるような安来ならではの魅力を創出します。

そして創出された魅力をどのように活用すれば、若者の集うまち安来の創造に繋がるか考え、独自の創意工夫を持って、市内外へ広く効果的に発信していきます。

このような事業を行うことで、一人でも多くの若者たちに、安来のことをより好きになってもらい「住みたい」「行ってみたい」、或いは「残りたい」「戻ってきたい」と思ってもらうことで、市内外の若者の交流が活発になり、若者が集うまち安来の創造へと繋がります。

委員会メンバー全員で若者が集うまち安来の創造に向けて、心を一つに、創意工夫をもって、魅力を創出し発信していきますので、どうぞ一年間よろしくお願い致します。

## 3. 事業計画

### 1) 新年例会の開催（1月）

（目的）青年会議所の発展、メンバーの成長等を祈祷していただき、一年間心ひとつに運動を行うために、一年の方針を共有し抱負を語り合う。

（方法）清水寺にて祈祷してもらい、ゆう心にて新年例会を行う。

### 2) 4月例会の開催（4月）

（目的）安来ならではの魅力を創出する。

（方法）若者の感じている魅力・不安を声に出してもらい、その思いを汲み取る。

### 3) 9月例会の開催（9月）

（目的）安来のことを好きな若者を増やす。

（方法）創出した魅力を、創意工夫を持って市内外に広く発信する。

### 4) 第158回通常総会の開催（11月）

（目的）総会を開催し定款第3章第17条の事項について決議する。

（方法）通常総会を厳粛に滞りなく開催する。

### 5) 卒業例会の開催（11月）

（目的）長年ご活躍された卒業生の方々へ感謝と敬意を表し、メンバーで卒業生の想いを共有し次年度以降の活動に活かす。

（方法）卒業生へ記念品及び感謝状の贈呈を行い、思いのたけを語っていただく。

### 6) 広報紙ふれあいの編集発刊（12月）

（目的）安来市民の皆様へ一年の運動の成果を周知する。

（方法）広報紙ふれあいを発刊する。安来市内で山陰中央新報折り込み。